



芝浦アーバンデザイン・スクールは芝浦工業大学デザイン工学科建築・空間デザイン領域が進める大学と地域が連携して都市の魅力を再発見・再検討するプロジェクトです。環境保全、安全安心、持続経済など都市のあり方と建築の意味がいま改めて問われています。教育、研究、社会貢献の3つの学びを通して建築、都市、地域の未来を探ります。2013年度から東京都港区と連携して行なっています。Shibaura Institute of Technology started Urban Design School Shibaura in 2013 autumn as a project of Universities as the Center of Communities (COC) approved by Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology. The School is an academic and social program aimed at reconsidering cities and the built environment through education, research and service to local communities.

1 教育 地域の建築から学ぶ設計演習

アーバンデザイン・スクールにおける教育の柱は、地域の空間資源を題材に行政や住民と意見交換してデザインを検討し成果を公開する交流型演習です。学生の視野拡大はもとより学生の提案を通して地域が自らを再発見することも期待しています。

この交流型演習をデザイン工学科プロジェクト演習4と同8で実施しています。前者は都市のワークスペースをテーマに港区内にオフィスを計画しました。後者は港区指定文化財の木造建築「旧協働会館」の活用アイデアとデザインを検討しました。



プロジェクト演習2014 旧協働会館 軸組模型
Timber frame model



プロジェクト演習2014 都市のワークスペース
Workplace in the city, models

2 研究 建築を通して都市を捉える

アーバンデザイン・スクールは地域の課題を見える化することを研究の目標としています。①地域の現状を模型・図面・写真に表現する、②地域が持つ可能性を建築のデザインを通して検証する、③他地域と比較して対象地域の課題を相対化する。

大学の地元港区芝浦・海岸地区について基礎調査、フィールドワーク、卒業研究を行なっています。2014年度には韓国から大学生を招いて合同ワークショップを行ないました。東京と同じ水辺の大都市バンコクと台北を訪問調査してアジアのアーバンデザインについて知見を広げました。



海外調査2014 台北の地区保全と建築再生
Urban Regeneration Station, Taipei



日韓ワークショップ2014 発表会
International Exchange, presentation

3 社会貢献 都市と地域に開かれた場

アーバンデザイン・スクールはまちづくりの知見と方法を大学と地域が共有することを社会貢献の目標としています。公開講座では住民・行政・企業・学生が同じ場に集まって議論します。展覧会や発表会を通して大学の成果を開示して地域の反応を教育研究にフィードバックします。公開講座は2013年度3回、2014年度5回行ないました。節々には成果を芝浦キャンパス玄関ホールに展示しています。地域の行事に積極的に参加し模型や図面を出展しています。



公開講座2014 芝浦工業大学 守田優教授
Open seminar, Masaru Morita, Prof.



自治体研修2014 芝浦工業大学 前田英寿教授
Training seminar, Hidetoshi Maeda, Prof.



芝浦運河まつり2014
Collaboration with local communities



港区主催BayArea365days出展2014
Exhibition to local communities